

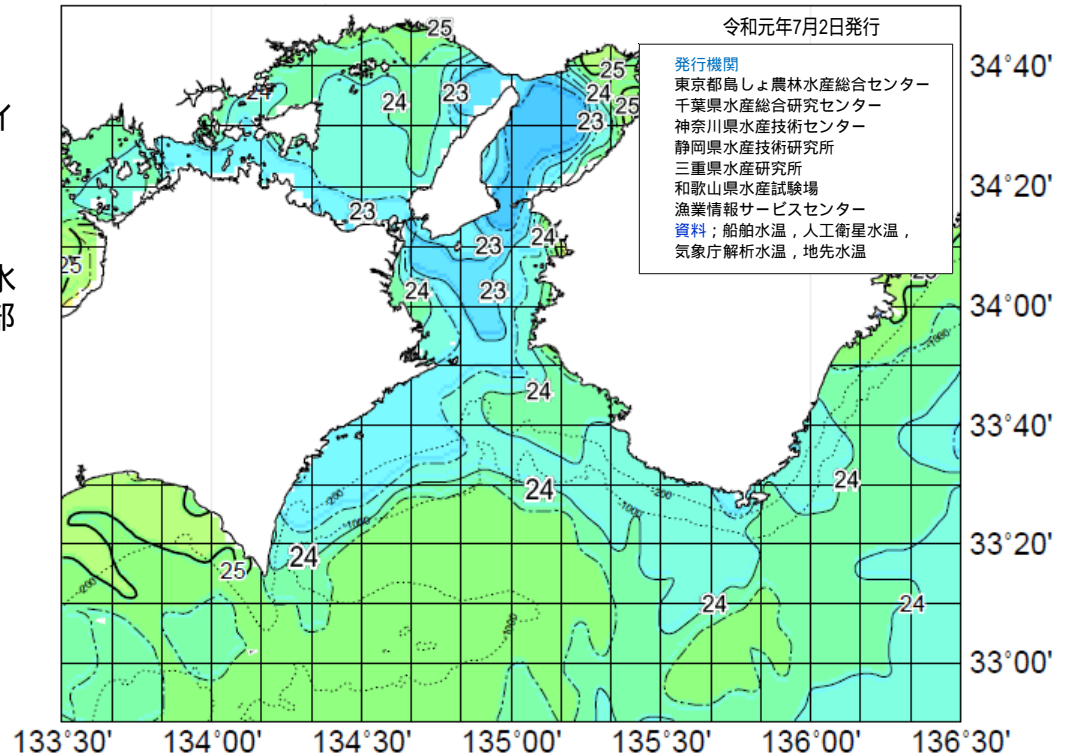
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温(7月2日)

黒潮は、室戸岬沖では56マイルにあり「離岸」、潮岬沖では140マイル前後にあり、引き続き「著しく離岸」となった。

7月2日の徳島沿岸の表面水温は、播磨灘、紀伊水道、海部沿岸ともに22～24 台で海域差が小さくなっている。黒潮の表面水温は26～27 台となった。



黒潮の離接岸の表現

(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：25～56NM 離岸56～86NM 著しく離岸：86NM～

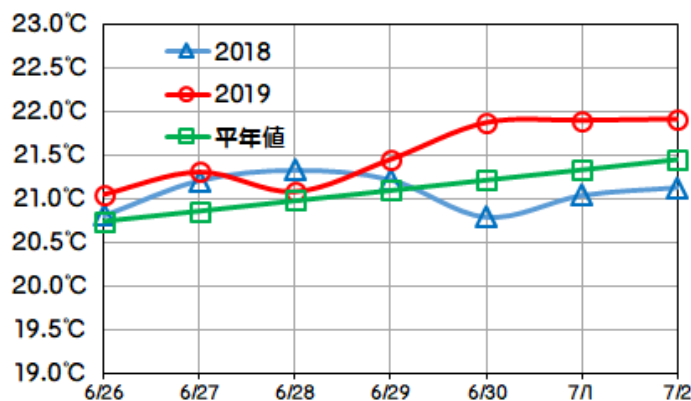
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、直近4日分を掲載しています。

2. 地先水温(6月26日～7月2日)

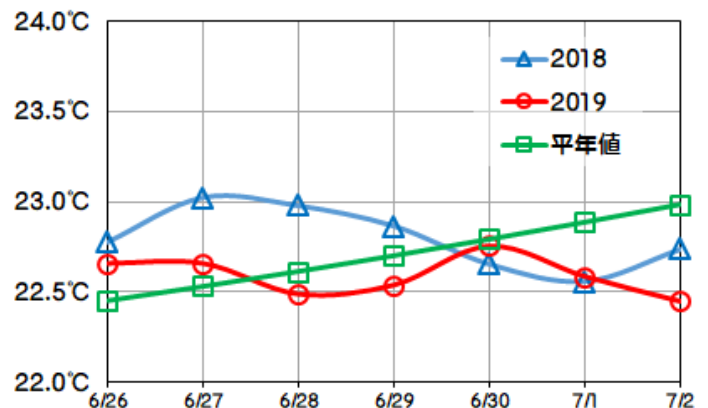
鳴門地区の水温は、「平年並み」から「やや高め」の21.1～21.9 で推移した。

日和佐地区の水温は、「平年並み」から「やや低め」の22.5～22.8 で推移した。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並：平年値±0.5 未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め：平年値±1.5 以上2.5 未満，かなり高め/かなり低め：±2.5 以上

平年値 1982年～2016年の平滑平均値

3. 週間予報(7月3日～7月9日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」から「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「平年並み」から「やや高め」の21～22 台、日和佐地区では「平年並み」から「やや低め」の22～23 台で推移する見込み。

漁況 2019年6月24日～2019年6月30日

荒天により、出漁日数少なく、全般に低調な水揚げとなった。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網：シラスが減って93.8ト水揚げされた。

釣り：タチウオが大きく増えて特大主体に0.9ト、イサキが大きく減って大主体に0.3ト水揚げされた。

延縄：ハモが減って中主体に6.3ト、タチウオが特大主体に1.8ト水揚げされた。

小型定置網：ブリが大きく減って中主体に0.6ト水揚げされた。

底びき網：ハモが減って中主体に3.0ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

延縄：キダイが大きく減って大主体に0.5ト水揚げされた。

小型定置網：マイワシが9.4ト、ウルメイワシが大きく減って2.3ト水揚げされた。

大型定置網：いわし類が増えて8.9ト、シイラが小主体に4.4ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲が0.2ト以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比 [※]
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	100	シラス	93,750	938		↓
	釣り	25	タチウオ	928	37	特大主体	↗
		13	イサキ	312	24	大主体	↓↓
	延縄	75	ハモ	6,330	84	中主体	↓
		74	タチウオ	1,782	24	特大主体	→
	小型定置網	15	ブリ	621	41	中主体	↓↓
		14	イサキ	427	30		↓↓
		7	マイワシ	317	45		↓
		15	マアジ	238	16	小小主体	↓↓
	底びき網	30	ハモ	3,050	102	中主体	↓
		26	マダイ	240	9		↓↓
		20	タチウオ	235	12		↑
海部沿岸	延縄	14	キダイ	462	33	大主体	↓↓
	小型定置網	12	マイワシ	9,400	783		→
		11	ウルメイワシ	2,256	205		↓↓
		11	シイラ	482	44		↑
	大型定置網	3	いわし類	8,942	2,981		↑
			シイラ	4,408	1,469	小主体	→
			マアジ	534	178	小小主体	↓↓
マサバ			478	159	小小主体	↓↓	
ブリ			377	126	小小主体	↓↓	
	イサキ	204	68		↓↓		

前週比 200%以上： 120-200%： 80-120%： 50-80%： 50%未満：